

YMCA News



11



YMCAスキーキャンプにいらっしゃああい!



おーい! スキーは初めての子、ハの字で滑れる子、二の字で滑れる子、スキー場の一番上から下までスイスイと滑れる子、みんなみんな、楽しいスキーをしたいヒトはこの冬のYMCAスキーキャンプに、いらっしゃああい!

YMCAスキーキャンプの良いところの一番目は、主に大学生のお兄さんお姉さん=「リーダーが居る」ことです。リーダーがグレンデでスキーをする時も、宿舎での生活の中でも、子ども達と一緒に居て一人一人をサポートします。リーダーはとにかく子どもが好きです。何が特に好きかって云うと、子ども達がキャンプを通して生き生きと成長する姿を見ること、そしてそのことをサポートすることが大好きなのです。でしょ?リーダーの皆さん。

リーダー達はスキーキャンプの前に子どものスキー指導の研修を受けます。座学と実技の研修テーマは「安全で楽しいスキー指導」です。実技ではレベルに応じた指導法を学びます。服装チェック、ブーツの正しい履き方、子ども達のヘッドカウント、グレンデでのマナー、声掛け、リフト乗車の説明、子ども達の疲労チェック、などなど。子どもに分かりやすい指導の仕方も具体的に学びます。

YMCAスキーキャンプの良いところの二番目は、子どもの興味関心と体力に合った適正なスキー指導の方法です。例えば、子どもの身体〜骨格、

筋力、持久力、瞬発力、体力は年齢に応じて発達途上にあり、おとなとは違います。また、おとなは格好良く滑りたいのに対して、子どもの関心は、転ばないで滑りたい、速く滑りたい、もっと上から滑りたい、いっぱい滑りたい、ですよ。子どもは沢山滑ることによってバランスを取ること、スピードに乗って滑ること、あるいは巧みさを自然に身に付けていきます。

リーダーは、安全を確保しながら、「子ども達と一緒に滑ります」。子ども達におとな向けの技術的な指導はせずに、一緒に滑ることによって子どもの上達を引き出していきます。

以上2つの良さがある為にYMCAのスキーキャンプは子ども達にとっては楽しくて、しかも心と身体の成長が期待できるのですよ!

盛岡YMCA維持会員兼子どものスキー指導担当
小林 明彦 (コバジイ)
(盛岡YMCA維持会員、東京YMCA職員OB)

※ 毎年、新潟県の妙高高原から盛岡YMCAのリーダー、職員対象のスキー指導に来ていただいています。



盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

9月の
活動報告

ちきゅうと、あそぼう 『お肉丸焼き大作戦!!』



こんにちは!ぐらです!9月『ちきゅうと、あそぼう』の活動報告をします。9月29日(日)に外山森林公園にて、子ども26名、リーダー16名、スタッフ2名で「お肉丸焼き大作戦!!」を実施しました!

現地に到着後早速、野外炊事を開始しました!目を輝かせながら「こんな感じなんだ!」とワクワクしている子や、「ちょっとかわいそう~」と初めての体験に驚きの声を上げる子など様々な姿が見られました。

鶏を火にかき、焼きあがりを待っている間にプログラムをしました。とり仙人と共に、お肉をおいしく食べるための修行として、ジェスチャーゲームやチキン争奪戦を行いました。グループで協力してジェスチャーや作戦を考えるを通じ、仲を深めながら盛り上がっていました。

そしてお昼ごはんでは、自分たちで焼いた鶏に感謝しながら「おいしい!」と笑顔で食べていました。ワイルドに噛みちぎって食べている様子は、まるで漫画の一コマのようでした。

鶏パワーのおかげでフリータイムも元気いっぱいでした!アスレチックで遊んだり、魔法のドングリでリーダーを操ったり、虫や山菜を探したり、それぞれの楽しみ方で最後まで満喫していました。

『ちきゅうと、あそぼう』は自然に触れ、非日常に触れ、人に触れる中

で、思い出や成長が生まれる場所だと思っています!子ども達と共に初めての体験や感情を共有し、心の友になれるようこれからも頑張っていきたいと思います!



岩手県立大学2年
滝澤 里菜(ぐらリーダー)

10月の
活動報告

サンデースクール 『わくわくハロウィンパーティ』



10月20日(日)YMCA向中野センターにて、子ども17名・リーダー21名で10月サンデースクール「なりたい自分になりきれ!わくわくハロウィンパーティ!」を実施しました!

今回のサンデースクールでは、「なりたい自分」になるための工作・プログラムを行いました。はじめに、子どもたちは皆で好きなものをつなげて、魔法の呪文を生み出し、自信を無くしていたリーダーたちを「なりたい自分」に変身させました。

「好きなものになれるんだ!」というワクワク感のなか工作が始まると、子どもたちは、リボンを作ったり、「ジャック・オー・ランタン」を作ったり、盾を作ったり、ジュースをつくったり、まんじゅうをつくったり、!!思い思いに、なりたいもの・好きなものをつくる姿が見られました。

工作後には、衣装が無くパーティー会場に来られない、[ジャック]の衣装を完成させるためのゲームを行いました。ゲームをしながら衣装の飾りを集める中で、他の子の衣装に注目したり、自分の衣装をどうやってつくったのかを、誇らしげに教えたりする姿が見られました。全てのゲームをクリアし衣装が完成されると、ダンスパーティーのスタート! [ジャック]の動きを真似して踊る中で見せる子どもたちの笑顔は、とても印象的でした!

1日を通して子どもたちの笑顔や驚かされるようなアイデアがたくさん見られました。今後の活動でも、子どもたちが楽しみや自信・成長を感じられる場にしていきます!

岩手大学教育学部2年生 小倉 かえで(すずりリーダー)

10月の
活動報告

リーダーキャンプに参加して



こんにちは!バターです!私達リーダー34名、OB3名、スタッフ1名は10月5日(土)~10月6日(日)に、都南つどの森でリーダーキャンプに行ってきました。

1日目は最初にテント設営を行いました。1つのテントを4~5人で設営しましたが、夏のキャンプに行った人を中心に楽しく建てることができました。

その後の夕食では、もりおかワイメンズクラブ会長の長岡さんの支援のもと、富士宮やきそばと各リーダーが持ち寄ったものも含めバーベキューを行いました。みんな普段関わったことがない人ともたくさん話しながら、おいしく食べることができました。夜の醍醐味のキャンプファイヤーでは、子どもたちに負けにくい位の盛り上がりを見ることができました。それが終わり、お風呂は近くにある矢巾温泉に行きました。戻ってきて就寝時間までのフリータイムではカードゲームや、みんなで肝試しも行い絆を深めることができました。

2日目の朝ご飯は、豚汁うどんを作りました。みんなで協力して、とてもおいしい豚汁うどんを作ることができました。その後はテントを片付け、フリータイムです。思う存分に楽しみ、フリータイム終了時に、それぞれの場所から戻って来リーダーが、濡れていたり、とびっきりの笑顔を見せている様子を見て、とてもうれしく思いました。

その後、チェックアウトを済ませ迎えるバスを待っているときには、みんなで逃走中を行いました。即興で企画したOBはさすがいなと改めて感じました。

このキャンプを通して、キャンプはみんなで作るものだと感じました。メインリーダーがいて裏方リーダーがいて、グループのリーダー、スタッフ、そしてそれをサポートしてくれる方々がいます。一人一人に優劣をつけず感謝することが大事だと感じました。これから冬のキャンプが始まります。ここで得た絆であったり、盛り上がりなど、活かせることはどんどん活かしていきましょう。

今回携わり支援してくれたOB・スタッフの皆様本当にありがとうございました!!これからもリーダーは成長し続けます!!

岩手県立大学2年 瀬川 裕心(バターリーダー)





みんなで参加しよう！ スキーキャンプのご案内



たくさんの経験が自信に！

わたしは、小学3年生のときに仙台YMCAのスキーキャンプへ行ったことがきっかけで、スキーの面白さ、仲間と過ごす楽しさを知りました。それから、中学生になっても、大学生になっても毎年スキーキャンプへ参加をしていました。

小学生だった私にとって、YMCAのキャンプはとても待ち遠しいもので、終わるたびに、キャンプソングを口ずさみ、「早く次のキャンプに行きたい!」と両親にねだる、そんなものでした。親もいない中で、また、知っている人もいない中で、どうしてここまで楽しかったのか。一つは、おそらく「解放感」でした。自分自身を思いっきりさらけ出せる、新たな自分に気づく瞬間がキャンプにはあったように思います。そして、どんな自分でも受け入れてもらえるリーダーたちの存在が私にとってとても大きなものでした。一緒に思いっきり遊んでくれるお兄さん、お姉さんの存在が、どんな私でもいいんだ!という「自信」になっていったように思います。

冬が来るたびにキャンプに参加していますが、一度も同じキャンプはなく、新しい出会い、気づき、学びがあります。もちろんトラブルもありますが、そこをどう乗り越えていくのかも子どもたちとリーダーにとって、大切な「経験」となり、それがいずれ「自信」につながっていきます。今年のキャンプも子どもたちとリーダーでそうしたたくさんの思い出を作っていきたいと思っています。

ジュニアスキーキャンプディレクター 武田 悠

スキーキャンプの魅力

皆さんこんにちは! シュリンプです。1月11日(土)~1月13日(月)に行われるダイナミックスキーキャンプで、参加したスキーキャンプは通算10回目になります。

スキーキャンプでは、家族がいない場所で、初めて会う子どもやリーダーと一緒に生活すること、生活のグループとはまた違う人と一緒にスキーを滑ることなど、子ども、リーダー達にとって様々な試練があります。ただ、そのような試練を乗り越えられた時こそ、スキーキャンプを楽しいと感じれたりや発見があったりするのだと思います。そして、乗り越えるときの子ども、リーダーの力がみられることこそがスキーキャンプの魅力だと思います。

今回も、そのような魅力溢れるキャンプをリーダー達と一緒に作って行きたいと思っています。

ダイナミックスキーキャンプディレクター 宮澤 秋彦



11/1
から開始

平和に暮らせる社会の実現を願って 国際協力街頭募金



いよいよ11月1日(金)から、「盛岡YMCA国際協力募金2024」が開始となります。世界的に不安定な情勢となっている今日、盛岡YMCAとしてできることは、皆様のご協力のもと募金活動を行い、少しでも多くの方々に、諸外国の現状を知ってもらおう事です。日本からは遠く離れた国々ではありますが、国境を越えて、同じ人間として助け合い寄り添うことが必要だと考えています。



皆様のもとへ、10月21日から国際協力募金のご案内と募金ツールを、皆様に順次お届けしております。お渡しをさせていただいた募金ツールを用い、11月1日(金)~2025年2月28日(金)の期間に募金をいただければと思います。また、YMCAニュース10月号でもご案内しておりますとおり、11月23日(土・祝)に盛岡市内各所にて街頭募金活動をおこないます。街頭募金当日は盛岡YMCAに関わる職員、大学生リーダー、そして多くの子どもたちと保護者の皆様と一緒に、地域の方々へ向けて募金を呼びかけます。

今回の街頭募金活動場所は、パルクアベニューカワトク前、MOSSビル前、北

日本銀行大通支店前の安全十字路、盛岡駅渚の広場の4か所となります。毎年大きな声で募金を呼び掛ける姿に、地域の皆様から激励とともにたくさんの募金をいただいています。

当日のスケジュールは10時30分にYMCA中央センター(ぶらいむ・たいむ中央校)に集合、それぞれの活動場所へ移動し、11時~15時まで途中お昼休憩をはさみながら、募金活動を行い、終了後はYMCA中央センター(ぶらいむ・たいむ中央校)に戻り、各活動場所の募金額の計算を行い、16時頃解散予定となります。

この街頭募金活動への参加は、こちらのQRコードから申込み可能となっております。この国際協力活動は皆様のご支援とご協力によって成り立ちます。そして

YMCAが目指す、かけがえない一人ひとりのいのちが大切にされる「ポジティブネット」のある豊かな社会の創造のため、あらためて国際協力募金活動へのご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



申込みQRコード 国際協力募金担当 東森 聡

11/4
開催

家族みんなで楽しもう YMCA 秋のサッカー大会



秋といえばなんですか。読書?食べ物?いいえ、紅葉ですね。まるで今年最後の力を振り絞るように、真っ赤に染まった葉っぱを私たちは好んで見ます。一枚だけでも素晴らしいですが、それが何枚も組み合わせられた時、目で見えるオーケストラの完成ですね。

しかし、秋はそれだけではありません。さて、それは何だと思いませんか。そうです。心です。心が熱く高揚する、なんとも熱いイベントがもうすぐそこまで迫っています。それは秋のサッカー大会です!

この心を高揚させる今年の秋のサッカー大会は、11月4日(月・祝)に岩手県営運動公園クレーグラウンドで開催します。今年の秋のサッカー大会は、家族みんなで楽しめることが特徴的です。サッカーというスポーツを通して、各サッカースクール・活動の垣根を越えて子ども達が元気いっぱい楽しむことを大切にしているので、サッカー経験がなくても楽しめること間違いなしです。

この時期はさんと照り返す光とカラっとした広大な青空のもとで、夏の終わりと冬の始まりを感じる時期でもあります。その絶妙な時期の中で、家族、友達、みんなとサッカーをすることは、これほど楽しく充実した時間はないと思われま。一人ひとりが心を熱く高揚することで、紅葉を楽しむ時間のように素晴らしい時間を過ごしませんか?リーダー・スタッフ一同、心から皆さんをお待ちしています。

岩手大学3年 菊地 隼一郎 (クミンリーダー)



YMCAの行う国際協力⑤「パレスチナ支援～オリーブの木キャンペーン」



日本のYMCAは1990年代からパレスチナのYMCAと交流があり、ワークキャンプなどを実施してきましたが、残念ながら現在日本からの参加者派遣は休止しています。しかし、皆さまからお預かりした国際協力募金は東エルサレムYMCAに送金して現地の活動を支えているほか、パレスチナの主要作物であるオリーブの苗木を送る「オリーブの木キャンペーン」を実施しています。

このキャンペーンは2002年、パレスチナのYMCAとYWCAによって始められたもので、占領下で破壊されてしまったオリーブ畑を再生することによって人々の暮らしを支え、希望が失われることのないよう現地と連帯する、武力によらない平和への取り組みです。現地YMCAとYWCAは、JAIと呼ぶ共同の事務所を設けて世界中に支援を呼びかけており、欧米諸国や韓国などが参加。これまでの21年間で29万4千本の苗木が植えられています。



盛岡YMCAリーダー紹介②④



ドはドビーのドー♪岩手大学教育学部3年ドビーです！私は静岡県出身で、富士山と海に囲まれた、雪の降らない温暖な地で育ちました。夏はセミの抜け殻を飼い、紙で服をつくったり、冬はほんの少しの雪が降った時に、窓をクラス全員で眺めて、芸能人が来たかのように喜んだりして過ごしていました。そんな私は岩手大学に入るために、受験で初めて東北に来て、盛岡YMCAと出会いました。



初めて参加した活動は1年生の時の10月サンデースクールで、そこで一緒にグループだった子に「ドビーまた会える？」と言われたことが本当にうれしくて、今でも毎月サンデースクールに通い続けています。

通常活動に行っていないため初めて会う子が多いですが、来る時緊張している子が、活動の中で、徐々に色々な姿を見せてくれて、一緒に全力で楽しむことができ、帰る時にはにこにこ笑顔になっています。本当に短い時間ですが魔法のような力があって、子どもたちの良さや成長をすぐ近くで見ることができて、自分も子どもたちからたくさんのことのパワーをもらい、多くのことを学んで成長していると実感しています。そして、たまたま教育実習で初めての活動の時に会った子どもにも再会し、その時の活動を覚えていて本当にびっくりしました！

盛岡YMCAで、たくさん子どもたちやリーダーに巡り会えたことが本当に幸せです。これからも出会えた子どもたちと関わる時間を大切に、最高の時間となり笑顔で帰る姿を見ることができるよう岩手で過ごす残り1年半も頑張っていきます！ 岩手大学3年 佐野 菜美 (ドビーリーダー)

2024年度 9月新規会員 敬称略
2024年度 維持会員 池田勝一、角谷晋次、及川茂夫

最新情報はこちらでチェックできます！
「盛岡YMCA」で検索ください。



ホームページ



facebook



instagram

12・1月活動案内



12月

サッカー	木曜	12/5、12、19
	金曜	12/6、13、20
	幼児	12/7、14、21
	土曜小学生	

水泳	月曜	12/2、9、16、23
	水曜	12/4、11、18
	木曜	12/5、12、19
	金曜	12/6、13、20

体育教室	第一	12/7、14、21
	第二	

英会話教室	水曜	12/4、11、18
	金曜	12/6、13、20

習字教室	12/3、10、17
------	------------

ジュニアスキーキャンプ	12/27～29
-------------	----------

国際協力街頭募金	12/22
----------	-------

1月

サッカー	木曜	1/23、30
	金曜	1/24、31
	幼児	1/18、25
	土曜小学生	

水泳	月曜	1/20、27
	水曜	1/22、29
	木曜	1/23、30
	金曜	1/24、31

体育教室	第一	1/18、25
	第二	

英会話教室	水曜	1/22、29
	金曜	1/24、31

習字教室	1/14、21、28
------	------------

ダイナミックスキーキャンプ	1/11～13
---------------	---------

ちきゅうと、あそぼう	1/26
------------	------

表紙の写真から



2023年の国際協力街頭募金活動の様子。寒空に負けず子どもたちは募金箱を持って元気いっぱい呼びかけをしてくれています。